

FPT デジタルリテール(FRT)



《企業紹介》

同社はスマートフォンやノートパソコン等のモバイル機器をベトナム全土に展開する FPT ショップ 800 店舗（2023 年 6 月末時点、期初比 7 店舗減）で販売する企業である。ベトナム最大の IT 企業の FPT 情報通信（FPT）によって設立され、FPT は同社株式の 46%(2021 年 3 月)を保有する筆頭株主である。FPT のブランド力、米国アップルコンピュータ社の公認販売業者としてアップル社に認められたサービス水準が競争力となり、モバイル情報機器の小売事業では国内大手の一角を占める。

また、同社は医薬品小売事業（ロンチャウ）を第 2 の柱として育成している。医療サービスネットワークが手薄なベトナムではそれを補完する存在としてロンチャウのようなドラッグストアの存在感が高まっている。また、ベトナム政府は医薬品の流通を近代化し、国民の健康を確保するために、処方箋なしの医薬品販売の禁止や、デジタル化を進めていることもロンチャウの事業拡大の追い風となっている。店舗数は 1,243 店（2023 年 6 月末、2022 年 3 月末比 187 店舗増）と順調に増加しており、業界トップの地位を着実に固めている。

《2023 年 4－6 月期業績》

2023 年 4－6 月期の売上高は前年同期比 15.4%増の 7.2 兆 VND（ベトナムドン）だった。FPT ショップの売上高は、情報機器需要が引き続き低迷していること、販売店間の競争激化による価格低下が急速に進んでいることなどにより、同 18%減の 3.6 兆 VND と厳しい状況が続いた。一方、ロンチャウの売上高は店舗数の増加やサービス水準の高度化によって、競合他社に対する優位性が一段と進んだ結果、同 95%増の 3.6 兆 VND と大幅な増収を記録した。

粗利益率は同 0.1%ポイント低下の 15.1%となった。FPT ショップの粗利益率は価格競争激化によって低下したとみられるが、ロンチャウの粗利益率改善がそのほとんどをカバーしたとみられる。粗利益は同 14.9%増の 1 兆 837 億 VND と 2022 年 7－9 月期以来の前年同期比二桁増を達成した。

しかし、営業損益は 2,022 億 VND の赤字に転落している。金融費用が前年同期の 166 億 VND から 667 億 VND に拡大したこと、FPT ショップで積極的な販促活動を実施したことによって販売費が同 24.2%増の 963 億 VND に拡大したこと、一般管理費が前年同期に一時的に減少した反動によって同 167.2%増の 2,561 億 VND と大幅な増加となったため、営業費用が同 44.9%増の 1 兆 2,858 億 VND となったことが響いた。なお、一般管理費の水準は 2022 年 7－9 月期以降の水準と大きく乖離したわけではない。

2023 年 12 月期会社計画は売上高が前期比 13%増の 34 兆 VND、税前利益が同 51%減の 2,400 億 VND となっている。1－6 月累計の売上高の進捗率は 44%となっている一方、1－6 月累計の税前損益は 2,126 億 VND の赤字であるため進捗率は計算できない。情報機器の需要低迷が想定以上となっているため、業績計画の進捗は、特に利益面で順調ではない印象だ。2023 年 7－9 月期以降の業績回復の鍵は情報機器の需要動向が握っているといえよう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20230801

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよく読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

FPT デジタルリテール (FRT)



図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2022年4-6月期		2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	6,213.2	42.5	7,709.1	54.4	8,457.8	-0.2	7,752.9	-0.4	7,170.3	15.4
粗利益	943.2	55.9	1,196.6	72.3	1,330.6	5.1	1,186.4	-3.8	1,083.7	14.9
粗利益率	15.2	+1.3%p	15.5	+1.6%p	15.7	+0.8%p	15.3	-0.5%p	15.1	-0.1%p
営業費用	887.7	55.7	1,093.8	72.1	1,217.6	42.9	1,188.3	15.4	1,285.8	44.9
純金融収支、マケスは受取超	16.6	-	18.3	-	43.5	-	69.8	-	66.7	-
販売費	775.2	65.7	865.3	95.1	886.5	20.6	913.2	24.7	963.0	24.2
一般管理費	95.9	-17.9	210.2	1.7	287.7	114.1	205.4	-30.1	256.1	167.2
営業利益	55.5	58.9	102.9	74.1	113.0	-72.7	-2.0	赤字転落	-202.2	赤字転落
税引前利益	59.1	57.5	105.8	73.7	116.9	-72.0	2.1	-99.0	-214.8	赤字転落
税引後利益	46.7	55.1	85.3	79.7	94.5	-71.8	-5.1	赤字転落	-218.6	赤字転落

出所 会社資料をもとに当社作成

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数について、2022 年末の終値を 100 として指数化したものだ。同社の株価パフォーマンスは 3 月中旬から 5 月までは VN 指数を下回っていたが、その後急速にキャッチアップする動きをみせている。7 月 31 日終値ベースで、VN 指数が 2022 年末比 22% の上昇となっているのに対し、同社の株価は 28% の上昇となっている。また、7 月 31 日終値 76,400VND で計算した時価総額は 9.0 兆 VND で、これは 2022 年 12 月期実績の税引後利益 3,904 億 VND の 23 倍となっている。

FPT ショップは情報機器の需要回復の方向性が見えない中でシェア拡大を狙い、ロンチャウは店舗ネットワーク拡張のための先行投資を優先している。営業損益は均衡水準での推移が 2023 年 7-9 月期以降、急速に改善することは困難かもしれない。

しかし、ロンチャウは他のチェーンに対する競合優位性を確立しつつあり、FPT ショップのシェア拡大も続いている。中長期的な利益成長の基盤が形成されつつある点にも注目すべきだろう。

図表2 株価推移



出所 Investing.com のデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20230801

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。